

第1回地域連携推進部会 協議シート

豊かな人間性

挑戦する意欲

持続可能な社会を担う力

《これからの社会をたくましくしなやかに生き 活躍することのできる力を育むために》

1 ねらいに向けて「できること」は何か？

① 何ができるか…

市 川様：福祉事業（保育、介護等）を展開している中で、できることを協力を。

数馬田様：生徒のことをもっと知ることが大切だと考える。その上でサポートを考慮する。

今 様：専門学校関係に従事しているので、進路についてのアドバイスはできる。

芳 賀様：生徒が目指すものの現状把握をしたい。多くのチャンス（例：職業人の生の声を聞かせる機会等）を提供したい。

日 高様：生徒との触れあいの場を希望する。

吉 田様：生徒の自己肯定感を高めるため、成功体験を増やさせたい。「学びは一生涯である」ことをわかってもらいたい。

福 沢様：今の1学年にどのように探究の仕掛けをしているか

→（山本 t 回答）身近な中で不思議だと思えることを探究させる。2学年でどのようなもっていくかは自分の頭ではあるが、周囲の了承をもらうように諮っている途中である。コンソーシアムに協力してほしいことは、「議会の傍聴に来ませんか」等投げかけていただきたい。

（会議後の河村主査からのアドバイス：生徒のことを知る機会として、普段の授業を撮影したものをこのような会議でお見せしたらどうか。）

② 直近で実施した方がよいことはあるか…

福 沢様：総探の中間発表会に運営協議会委員が参加できないか。

吉 田様：運営協議会の委員が気軽に学校に入ることができ、普段の生徒の様子（生徒が構えない様子）を見られることはできないか。

※ 対象は、生徒や教員、保護者など あらゆる観点・視点での計画が可能です

2 年間のスケジュール

第2回：9月5日（木）

第3回：未定

○ 次回の部会 開催日程 7月13日（土）4時より 場所：[本校]（小会議室？）

活動のねらい

会	活 動 内 容
地域連携推進部会	・本校が育成を目指す資質・能力について、地域と共通理解を図ると共に、地域と教職員が協働しながら効果的な教育活動の在り方等について助言や支援を行う。 ・生徒の探究的な学びの推進のため、野幌高校コンソーシアムとの円滑な連携を促進するための助言や支援を行う。 ・生徒が自己の適性を理解し、進路及び自己実現するための活動について助言や支援を行う。